

一般社団法人 大学コンソーシアム熊本  
令和4年度 第2回教育のあり方に関する協議会議事要録

1. 日 時 令和5年1月23日(月) 15時00分から15時45分

2. 場 所 オンライン (Zoomによる)

3. 出席者

講 師 代理：今村 清寿 (熊本県教育庁 県立学校教育局 高校教育課 高校魅力化推進室)

出席者 上野 伸一 (九看大)、岡本 真理 (九ル大：代理)、西村 明博 (学園大)、三浦 幸輔 (県技短)、鈴木 元 (県立大)、佐藤 敏明 (熊本高専)、甲斐 広文 (熊本大：企画・運営委員長)、河瀬 晴夫 (熊保大)、岡原 安利 (尚綱大)、長島 宏一 (崇城大)、橋本 成人 (東海大)、賀久 英之 (中九短：代理)、浦上 仁史 (平音大)、岩井 政樹 (熊本県：代理)、宮田 侑司 (熊本市：代理)、阪本 達也 (学生教育部会長)、村田 浩平 (地域創造部会長)

欠席者 北村 敏夫 (九ル大)、鶴濱 邦一 (中九短)、小川 剛史 (熊本県)、迫本 明 (熊本市)、大谷 順 (国際交流部会長)、宇佐川 毅 (教員免許状更新講習・教員養成等事業部会長)、荒森 靖夫 (熊本経済同友会)

陪席者 内山 佳世 (熊本大)、大谷 眞理 (熊本大)、木下 統晴 (熊保大)、竹屋 元裕 (熊保大)、渡邊 雄一 (熊保大)、古賀 陽一 (熊保大)、勝木 康子 (熊保大)、平緒 泰弘 (熊保大)、水野 恵介 (熊保大)、井坂 和義 (中九短)、久米田 将典 (熊本県)

事務局 松村 健史 (局長)、吉永 貞弘 (次長)

4. 講 演

(1) 議長 (企画・運営委員長) より講演の前に以下の発言があった。

本協議会については、大学コンソーシアム熊本の中期計画において、①地域の行政や産業界との連携、②教育環境の向上の指標のもと、年3回以上開催することとしている。

第2回目の本日は、熊本県様から「県立学校魅力化きらめきプラン」について20分程度講演をいただいた後、質疑応答・意見交換を行う予定である。ご質問については、ご講演のあとに時間を設けたい。

(2) 講演「県立高校魅力化きらめきプラン」

熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課高校魅力化推進室教育指導主事 今村 清寿氏から講演があった。

この後、以下の質疑応答・意見交換があった。

(意見) 高校と大学との連携はもっと深めて行って、熊本モデルを作ってもらえればと思っている。

(回答) 人材育成のワークショップに協力いただき感謝している。高校の教員もたくさんのヒントをもらえた。

(質問) 情報発信のための取り組みという事で、「熊本県立高校検索ガイド」が全国において表彰を受けているが、具体的にどういった点が評価されたのか？

(回答) Web デザインが評価された。サイトの扱いやすさだとか全部の県立高校が一度に見られるホームページであり、検索方法の操作性が評価を受けた。

(質問) 「第1回のスーパーハイスクールの全体発表会県立高校学びの祭典」が3月4日(土)にグランメッセ熊本で開催されるが、コンソとしても共催の形は取れないか？

(回答) 各大学の先生方に周知する機会をいただければと思う。

(質問) 「第1回のスーパーハイスクールの全体発表会県立高校学びの祭典」が3月4日にグランメッセ熊本で開催されるが、発表されるテーマとかそれを担当する生徒については、こういった形で選考されているのか？

(回答) 選考ではなくて、広く募集をかけて希望してきた生徒は、会場に入る分は全員が参加できる。

(質問) 一つの学校から複数の参加もあるか？

(回答) ほとんどの学校が、複数の研究発表を行う予定である。

(質問) コンソのブースと各大学のブースが共存すれば、高校生への刺激にもなるし、良い連携が図れることが出来ると思うので、コンソと各大学のブースを設置するのは可能か？

(回答) 今、各学校に募集をかけて、参加者を調査中であり、大学でもコンソの取組みを紹介するようなブースを出してもらえるのであれば、ブースを設置するのは可能であると思われるので相談して欲しい。

(議長) 県内の高校生が県内の大学に入学して、地域のためや国際的に頑張るといような流れが出てくることを期待する。

大学側も、県内の高校生を更に個性が光る人材として育てていくために、高校側から大学側へ期待するものがあれば。

(回答) 大学側で求めている人材と高校側で育成しようとしている人材像との擦り合わせ等について情報交換や情報共有ができればと考えている。

(議長) グランドデザインの観点から、今回の「学びの祭典」を通じてデザインを描ければよい。「魅力ある若者を育てていこう、こういった分野を強化するのがこんなタイプの高校だ」といような話があったが、多様な学生を育成する環境、それをきちっと受け入れる大学、指導できる多様な教員、産業界からも高校教育に参画する、というようなことで相乗効果が生まれる。大学の強みを更に強化することができる。グランドデザインにマッチできるよう情報交換、情報共有しながら、今回のイベントを通じ、中・高校生に刺激が生まれる流れができればよい。

(議長) 以上で、本日の協議会は終了する。

今後、「教育のあり方に関する協議会」は、3月に第3回を開催予定なので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上